

## 創業23年目、成約カップル数40万組を見届けてきた 銀座ダイヤモンドシライシが贈る ブライダルリング・プロポーズにまつわる感動エピソード通信 Vol.2

銀座ダイヤモンドシライシは、ダイヤモンドを通してお客様の人生の様々な節目やステージの変化に寄り添い、“想いをカタチに”する、「日本最大級のブライダルダイヤモンド専門店」です。

お客様の想いを大事にしてきた銀座ダイヤモンドシライシだからこそ皆様に発信できる、**心がほっこりあたたまる様なエピソード**を、不定期でお届けさせて頂きたく考えております。

もうすぐジューン・ブライドの季節になります♡

そこで改めてジューン・ブライドの意味や由来をご紹介します。

6月「ジューン」の名前の由来は、ローマ神話に出てくる女神「ユノー」が元とされています。この女神ユノーは**「女性の結婚生活を守護する女神で、主に結婚、出産」**を司っているようです。

**「ジューン・ブライドの花嫁が幸せになれる」**という言い伝えはこの女神ユノーの守護に見守られているからだそう。

さて、今回の感動エピソードVol.2では2つのエピソードをご紹介します。本エピソードは、ご自由に記事作成の参考に使って頂けますが、記載化の際は「銀座ダイヤモンドシライシ協力」といった文言を挿れて頂けると幸いです。画像等が必要でしたら、早急にお送りさせて頂きます。

### episodel: ダイヤモンドのカラット数は一生に一度の大切な記念日



婚約指輪はいらないと仰っていたカップルが来店された時のお話です。

**「高いし必要ない」と言う女性。**

でもその言葉とは裏腹に、店頭にある婚約指輪を着けた瞬間、女性から自然と笑顔がみえました。後日、同じく彼女の笑顔に気づいた男性から連絡がありました。

**「いらないとは言っていたけど絶対に嬉しそうでしたね・・・何かできませんか。」**

結婚式の日付のカラットで結婚式でプロポーズをするという演出を提案しました。

結婚式でしっかりと**「結婚してください！」**とリングと共に渡されたそうです。

彼女は感動で涙を流されとても喜んでくれたそうです。

後日、男性から**「女性のいらないは信じてはいけませんね。」**と連絡があり、**「彼女の笑顔を引き出してくれてありがとう！」**の言葉を頂きました。

## episode2: マリッジリングに込めた二人の固い決心



ご両親に結婚を反対されている大学生のカップルのお話です。

ご来店してくださったのは、夏頃です。12月には式をしたいのでリングを見に来てくださりました。式場も決まっていなければ本当に結婚出来るかどうかも決まっていないう二人でしたが、「結婚したい」という思いは相当強いと感じました。

もし12月に結婚するという願いが反対されて叶わなかった時、マリッジリングがあるのとないのでは気持ちが全然違うことをお伝え致しました。  
リングがなければきっと反対されて先延ばしになって、なあなあになってしまうかもしれないこと。リングがあればもしかしてご両親にどれだけ結婚したいか想いが伝わって、納得してくれるかもしれないこと。  
それでも12月に結婚出来なくても折角あの時に覚悟してリングを選んだのだから、頑張ろう！と前向きな気持ちになれるということをお伝え致しました。

お二人は納得してくださってご成約をさせて頂きました。  
お二人の人生を左右する問題を一緒に考えて、導いてあげることの出来る他にはない  
素敵なお仕事だなと感じました。

### ～銀座ダイヤモンドシライシ商品紹介～



凛とした美しさを  
纏うデザイン

#### ■Diana D.(ディアナ ディー)

古代ギリシャで、神秘と不変性の象徴であった「月」。月の女神「ディアナ」の名をもつこのシリーズは、月光が水面に反射して放つ、優しく、そして、凛とした美しさを纏っています。  
「二人の歩み続ける道を照らす満月の様に、輝きの力が満たされた二人の人生を照らし続けますように。」という想いが込められたシリーズです。



手元を美しく  
優雅にみせるフォーム

#### ■「Radiant Days(ラディアント デイズ)」

Radiant Days(ラディアント デイズ)とは「輝く日々」という意味が込められていて、リングのデザインは空から降りそそぐ光に向かって大きく伸びていく植物のような、有機的なラインをイメージしています。  
銀座ダイヤモンドシライシの美しいダイヤモンドを最大限に引き立たせた、美しいアームのラインが特長のウェーブタイプのセットリングです。